

教育

介護の心と技 高校生競う

江別で実技コンテスト

声掛け丁寧に／疲労少ない体勢意識

身体が不自由な高齢者たちを支えた
い。そんな思いで介護を学ぶ道内の
高校生たちがその力量を競うコンテス
トが8月23日、江別市内で初めて開か
れた。介護では何が重視され、生徒は
どんな思いを抱いているのか。熱戦の
模様を紹介する。

(報道センター 石井努)

張り詰めた空気が流れて
いた。コンテストの会場に
なった北翔大の一室。「車
いすに乘るのでしっかりとつ
かまってください。1、2の
3で立ちますよ」。十勝管内
幕別町にある私立江陵高の
女子生徒が、高齢者役の北
翔大学生を介助していた。

「花柄のカディガンが
いいですね」と話しかけ
るなど、気配りがうかがえ
る。出場した鈴木沙弥さん
(17)と藤原実優さん(17)は
「緊張したけど、丁寧な声
掛けに努めました」とほっ
とした様子だった。

「北海道地区高校生介護
技術コンテスト」は全国福
祉高等学校長会の主催。11
月に石川県で開催される全
大会への北海道代表チーム
の選考を兼ね、江陵高のほ
か、上川管内剣淵町立剣淵
高、函館市の私立函館大妻
高、オホーツク管内置戸町
の道立置戸高の4校計5チ
ームが出場した。

北海道の代表選考は昨年
まで書類審査のみで行われ
ていたが、各都府県の大半
が実技審査で代表を決めて
いるのに倣い、今年から変
更した。同校長会の理事で
置戸高の花田祐治校長は
「実際に介護の様子を審査
する方が生徒の刺激にな
り、介護の質の向上につな
がると判断した」と説明す
る。出場した生徒たちは日



バランスのとれた介護技術で最優秀賞に輝いた置戸高の(右から)吉田桃花さんと山田亜希さん
(写真はいずれも藤井泰生撮影)



女性の身だしなみを整える剣淵高Aチームの生徒。コンテ
ストの対象になった

5校に介護福祉士課程

高い合格率 自治体も支援

校名	学科などの名称	定員	電話番号
置戸高	福祉科	40	0157・52・3263
剣淵高	生活福祉系列	40	0165・34・2549
留寿都高	農業福祉コース	20	0136・46・3376
函館大妻高	福祉科	40	0138・52・1890
江陵高	福祉科	37	0155・56・5105

介護技術コンテストに出場し
た4校は、国家資格「介護福祉
士」を養成する教育課程を設け
ている。置戸高、江陵高、函館
大妻高は福祉科、剣淵高は総合
学科に生活福祉系列を設置。こ
のほか、昼間定時制の後志管内
留寿都村立留寿都高も農業福祉
コースに同じ教育課程がある。

各高校の生徒は国語や数学な
どの共通教科と、「福祉」など
の専門教科を履修する。函館大
妻高は93単位のうち52単位の専

門教科を履修する必要があり、
中山明美教諭は「夏休みは実習
に費やされる」。江陵高も99単
位中56単位が専門教科で占めら
れ、丹保達教諭は「週2、3
日は7時間目まで授業を行っ
ている」と説明する。

これらを履修すると、生徒た
ちは介護福祉士の国家試験の受
験資格が得られる。試験は毎年
1月に実施する。専門学校生や
大学生、実務経験者も受験でき
るが、養成課程のある道内の高
校の合格率は全国平均の約60%
を大きく上回る。置戸高の昨年
度実施試験の合格率は96%で、
2011〜14年度は受験者全員
が合格した。江陵高も昨年度の
合格率は93%。函館大妻高は15
年3月に福祉科を卒業した29人
全員が合格する快挙を成し遂げ
た。

生徒たちは卒業後、介護施設
に就職して職員になるか、看護
師や社会福祉士、栄養士などを
目指し専門学校や大学に進学し
ている。

各高校に対し地元自治体も、
地域の介護現場で働く人材の確
保につながることを期待
し、さまざまな支援を続ける。
オホーツク管内置戸町は本年
度から、置戸高の生徒に対し返

還金制度が始まった00年度より約
2・4倍増えた。一方で、介護
現場の人材不足が課題になって
いる。道教委高校教育課は「コ
ンテストをきっかけに、介護の
裾野が広がってほしい」と話し
ている。

動きや言葉遣いに口づけるの、ことを理解し、支えてく積重ねがうかがえた。生徒たちは競技終了後のアビールタイムで「お茶会の準備を手伝う女性の」人の役に立ちたいという思いを尊重し、安全安心な介護を心がけた。「すべて介助するのではなく、もう一歩張りつというところで介助して自立支援を促したなど説明。一つ一つの動きに対し、きちんと根拠を示しているのが印象に残った。

趣味の話も共有

その中で際立っていたのが、最優秀賞を受賞し、北海道代表となった戸高のチームだった。

女性がお茶会の準備で湯飲みにお茶を入れていると、生徒が「きれいな色のお茶ですね。〇さんが入れるお茶はおいしそうに見えるね」と自然体で声をかける。さらに設定された女性の経歴に「趣味は菓子作り」とあったことから、「今度施設で喫茶店を開こうと思ってるのですが、さあさまでかを教えてくださいませんか」と語りかけた。これなら高齢者は、「自分



へトでは気配りの度合も評価

介助中の自身の身体動かし方も高い評価を得た。審査員を務めた北翔大の間美幸准教授は「足を十分に開いて疲労の少ない介助を心がけるなど、『ボディメカニクス』を意識していた」

戸高の吉田桃花さん(18)と山田亜希さん(17)は夏休み期間中の実習に追われ、十分な練習ができないうまく競技に臨んだ。吉田さんは「楽しい雰囲気をつくられた」と振り返り、山田さんも「練習通りにできた」と笑顔を見せた。

祖父の姿が契機

戸高だけでなく、出場校の生徒たちはみな介護への熱い思いを抱いていた。剣淵高Bチームの井川愁さん(17)は「亡くなった祖父が介助を受ける姿を見て、介護の現場で働きたいと思うようになった。『祖父は頑固な性格だったけど、親しいホームヘルパーが家に来ると機嫌が良かった。自分も人づきあいが苦手な家に閉じこもっている人を明るく元気にしたい』と

同校福祉科の柏倉早智子教諭は「介護に正解はないと言われますが、生徒はコンテストで他の選手を見て多くを学んだはず。向上心を持ちながら現場に出た時にこの経験を生かしてほしい」とエールを送る。

閉会式終了後、悔し涙を流す生徒もいた。悔しさが次につながるきっかけにしたい。そう願わずにはいられなかった。



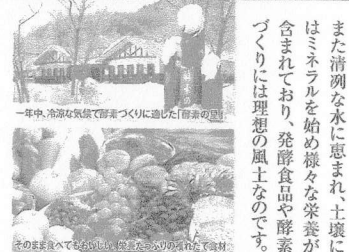
コンテストは介護現場を熟知する関係者が見守る中で行われ、会場は緊張した雰囲気にも包まれた



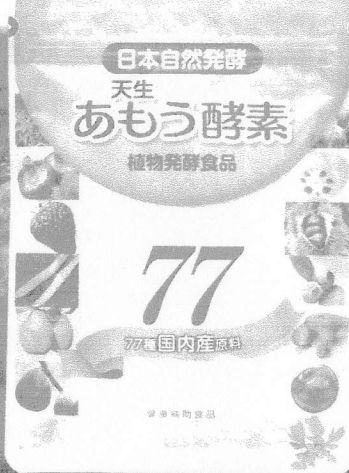
“年齢に負けない”元気な毎日を。

●お申し込みは今すぐ！
通話料無料
0120-0120-85
受付時間 9:00~17:30(土・日・祝日休み) 携帯・PHSからもOK!

WEB <http://www.nshk.jp>
FAX 0120-85-0537
お申し込み締め切り・お届け方法・商品掲載日から2週間以内にお申し込みください。お申し込み後、7日程度でお届けいたします。送料・キャンペーンにつき送料無料 ●お支払方法：代金は商品到着後10日以内に商品同梱の振込用紙にてコンビニエンスストアか郵便局にてお支払いください。(手数料弊社負担) ●返品・交換方法：返品・交換は商品到着後、8日以内とさせていただきます。次の①～③の場合は返品・交換はお受けできません。①一度使用になった場合 ②お客様の責任でキズや汚れが生じた場合 ③返品期間を経過した場合 (ご注意) お客様の理由による返品・交換の送料はお客様負担とさせていただきます。



一年中、冷涼な気候で育てつくりに適した「ふるさと」の里



あもう酵素77 (3g×31包)
1袋に多段階重合発酵酵素4650mg配合
おいしいペースタイプで約1か月分
1袋/通常価格 5,940円(税込)
さらに2回目は半額2,970円/3回目は10%引5,346円まで!

濃密熟成

酵素

飛騨高山 酵素の里 からお届け

今、酵素を食べている方へ。
酵素の本当のチカラを
ぜひ試してほしいから。

全77種類の食物原材料
は、切の妥協を許さず、とことんこだわり
続けています。安心安全
な製品作りにも奮闘する
地元・飛騨の農家を中
心に、すべてを国内産
で発酵させます。

寒冷な気候と澄んだ空気が
天然のクリーンルームと
なるこの地方では、雑菌の
繁殖を寄せつけません。
また清らかな水に恵まれ、土壌に
はミネラルを始め様々な栄養が
含まれており、発酵食品や酵素
づくりに理想的な風土なのです。

定期継続支援
お試しかんぱん
初回前価格

1袋5,940円(税込)を
送料無料で
770円(税込)

申込番号 に430 と 定期コース でお伝えいただければ...

さらに2回目は半額2,970円/3回目は10%引5,346円まで!

先着770名様限定! 本日(掲載日)より2週間

※本製品は日本自然発酵、植物原料のよい成分を生かす発酵法を
選び、何段階にも分けて発酵させる「多段階重合発酵法」に成功し、
濃密でおいしい酵素「アモウ」を生み出した。あもう酵素77は完成しました。
※770円の特別価格は3回以上の継続購入が
条件となります。
※特別価格の先駆け初めてご注文の方に限り、
1世帯1袋限りでさせていただきます。